

大阪透析研究会会誌投稿規定

1. 本誌は大阪透析研究会の機関誌として年2回以上発行する。
2. 投稿者（共同著者を含む）は本会会員またはその構成員とする。ただし、編集委員会が依頼や承認した場合はこの限りでない。
3. 本誌の内容は総説、特集、原著、症例報告、その他とする。
4. 原稿はホームページより投稿する
(<https://osdt.jp/>)
5. 投稿論文は、編集委員会の指定する査読者による審査を経て、その採否と順位を編集委員会で決定する。なお、投稿論文においては個人情報保護の観点から、たとえ学術論文であっても容易に個人が特定されないように、症例の記載については十分に配慮しなければならない。ヘルシンキ宣言に違反していると判断された論文は採用されない。
6. 査読の結果または編集の都合により、著者に訂正を求めることがある。
7. 論文の内容については、著者が責任を負う。症例報告、その他については、個人のプライバシーに配慮した内容にする。本誌に発表されたすべての論文の著作権は、著者（共同著者を含む）から大阪透析研究会に委譲されるものとする。これらを証するため、論文名、日付とともに、著作権を大阪透析研究会に委譲する由を記載し、代表著者が署名した用紙を論文に同封する。
8. 校正は初校のみ著者が行い、再校以後は編集委員会において行う。校正は誤植の訂正程度にとどめ、版の組みかえにはならない。
9. 掲載料は無料とする。別刷は30部までは無料とし、それ以上は著者の実費負担とする。
10. 原稿（図表などを含む）は原則として返還しない。
11. 原稿執筆の要領は次のとおりとする。要領に合わない場合は著者に修正を求める。
 - 1) 論文の長さは、特集、原著および症例報告の場合は本文を4,000字、図表6枚以内、計16枚以内とする。原則として要旨、緒言、対象・方法、結果、考察、結語、文献の順とする。総説の長さは、その都度、委員会で決定する。
 - 2) 原稿は邦文とし、横書き、当用漢字、現代仮名遣いを使用する Word の使用を推奨する。
 - 3) 論文表題には英文タイトルとローマ字による著者名を併記する。英文タイトルは最初の文字のみを大文字とし、ローマ字の著者名には M. D. 等をつけない。
 - 4) 論文には5個以内の key words をつける。
 - 5) 論文には最初に200字程度の要旨をつける。
 - 6) 図表は作表、作図ソフトウェアで作成し、本文とは別に、図のみのファイルと表のみのファイルを用意する。本文中には貼付しない。邦文の標題をつける。カラー写真は原則として著者の実費負担とする。
 - 7) 図表の引用の場合は、その出典を明らかにする。
 - 8) 図表の挿入箇所は原稿用紙の右欄外に朱書する。
 - 9) 外国人名、地名、薬品名は原語またはカタカナを用い、タイプまたは、明瞭な活字体とする。
 - 10) 度量衡はCGS単位とし、km, mm, L, dL, mL, kg, g, mg, mEq/L, mg/dL などを用い、数字は算用数字（1, 2, 3 など）を用いる。
 - 11) 学会に既に発表している場合には、その旨を末尾に記載する。
 - 12) 引用文献は、本文の引用箇所に順次番号を付し、本文の末尾に一括して、次の形式に従い引用順に記載する。
 - (1) 書籍は、著者名（3名までは全員記載。4名以上の時は3名まで記載し、以下は、「他」、または、「et al」として省略する）：論文名。書籍名；編者名、出版社名、所在地、頁（p 始め—終わり）、西暦年。の順に記載する。
(例1) 大島研三：泌尿器疾患総論。現代内科学体系；中尾喜久，吉利 和，山形陽一，他編，中山書店，東京，p3-20，1951。
(例2) Remuzzi G, Becker BN, Schulman G, et al : Nephrotoxicity of antiviral thera-

pies. Nephrology 5th ed ; edited by Noris M, DuBose TD, Science Publishers, Philadelphia, p378-401, 1996.

(2) 雑誌は、著者名（3名までは全員記載、4名以上の時は3名まで記載し、以下は、「他」、または、「et al」として省略する）：論文名。雑誌名（略名）、巻；頁（始め—終わり）、西暦年。の順に記載する。

(3) オンライン雑誌は、著者名（3名までは全員記載、4名以上の時は3名まで記載し、以下は「他」、または「et al」として省略する）：論文名。雑誌名（略名）、年。ウェブサイトアドレス。

(例1) 大島研三：腎疾患の分類と臨床。日内会誌，37；1043-1052，1986.

(例2) 岸本武利，仲谷達也，山本啓介，他：腎移植前後の患者ケア。阪透析会誌，11；163-170，1993.

(例3) Tallon S, Berdud I, Hernandez A, et al : The relative effects of PTH and dietary phosphorus on calcitriol production in normal and azotemic rats. Clin Nephrol, 46 ; 1441-1452, 1996.

(例4) Nakayama M, Sato T, Sato H, et al : Different clinical outcomes for cardiovascular events and mortality in

chronic kidney disease according to underlying renal disease. Clin Exp Nephrol, 2010. <http://dx.doi.org/10.1007/s10157-010-0295-y> .

13) 単語を略す場合は下記の略語表を用いる。

日本語	綴り	略語
血液透析	hemodialysis	HD
血液濾過	hemofiltration	HF
血液透析濾過	hemodiafiltration	HDF
腹膜透析	peritoneal dialysis	PD
連続携帯式腹膜灌流法		
持続性自己管理腹膜透析	continuous ambulatory peritoneal dialysis	CAPD
赤血球	red blood cell	RBC
ヘモグロビン	hemoglobin	Hb
ヘマトクリット	hematocrit	Ht
白血球	white blood cell	WBC
血小板	platelet	Plt
クレアチニン	creatinine	Cr
クレアチニンクリアランス	creatinine clearance	CCr
血中(血清)尿素窒素	blood (serum) urea nitrogen	BUN
カルシウム	calcium	Ca
ナトリウム	sodium	Na
塩素	chloride	Cl
リン	phosphorus	P
カリウム	potassium	K
マグネシウム	magnesium	Mg
ベータ2ミクログロブリン	β_2 -microglobulin	β_2 -MG
副甲状腺ホルモン	parathyroid hormone	PTH
心電図	electrocardiogram	ECG
標準偏差	standard deviation	SD
(平均値)標準誤差	standard error (of the mean)	SE, SEM